



### リビング・アースInsight

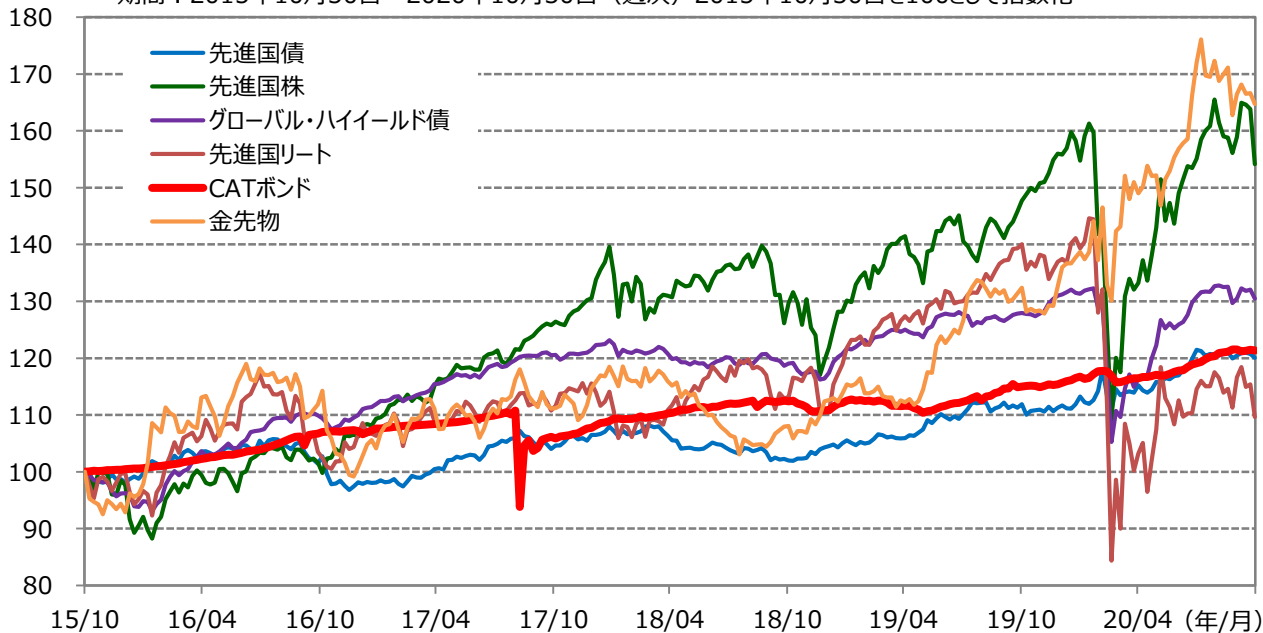


## 「他資産と低相関のCATボンド！」

大規模な自然災害の発生が主な変動要因となるCATボンドは、他資産との相関が低く、分散投資効果が期待できる投資対象資産です。

### グラフ1：CATボンドと他資産のパフォーマンス比較（過去5年）

期間：2015年10月30日～2020年10月30日（週次）2015年10月30日を100として指数化



### 同期間において、他資産との低相関を実現

	先進国債	先進国株	グローバル・ハイールド債	先進国リート	金先物
<b>CATボンド</b>	<b>-0.10</b>	<b>0.02</b>	<b>0.00</b>	<b>-0.01</b>	<b>-0.06</b>
先進国債		0.18	0.43	0.41	0.66
先進国株			0.80	0.79	0.21
グローバル・ハイールド債				0.80	0.37
先進国リート					0.37

CATボンドは代表的な投資資産との相関がほぼ0！

左記で示す相関係数は値動きの連動性を表す数値です。-1～+1の間で示され、+1に近づくほど連動性は高くなり、一方で-1に近づくほど逆の値動きをするという意味になります。

【使用した指数について】CATボンド：スイス・リー・キャットボンド指数、先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本）、先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み）、グローバル・ハイールド債：ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル・ハイールド・インデックス、先進国リート：S&P先進国REIT指数、金先物：COMEX金先物  
CATボンド指数（スイス・リー・キャットボンド指数）は当ファンドのベンチマークではありません。  
出所：Bloomberg、FTSE Fixed Income LLC、MSCI、ブルームバーグ・バークレイズ・インデックスのデータに基づきT&Dアセットマネジメントが作成

記載のデータは過去のものであり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。  
当資料をご覧いただくにあたっては、8ページに記載された内容をよくお読みください。



# リビング・アース戦略ファンド

年2回決算コース/年4回決算コース  
追加型投信/海外/債券

T&Dアセットマネジメント

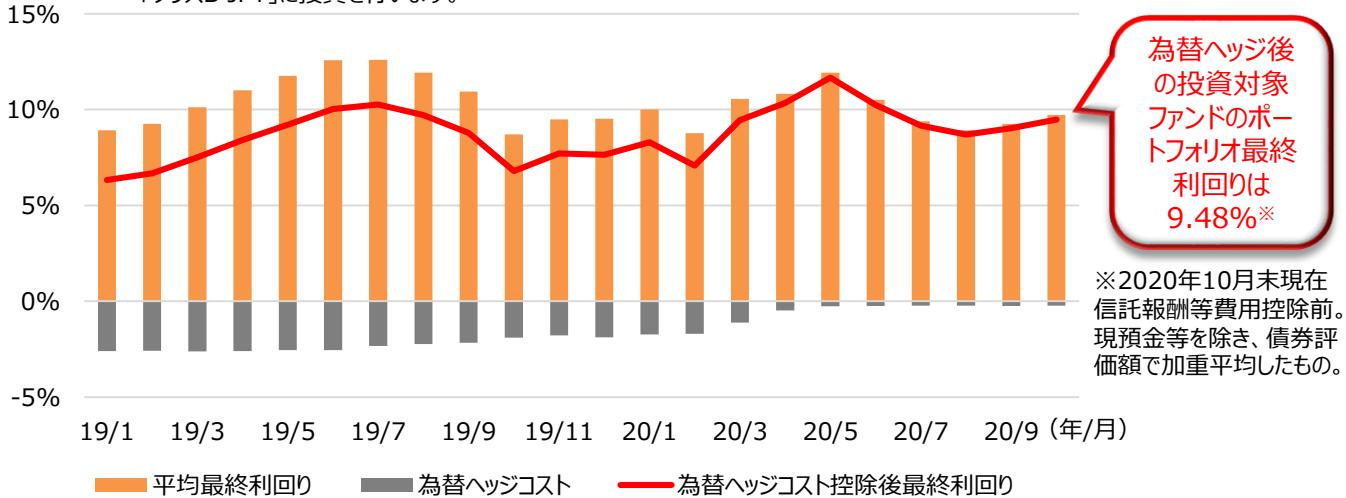
情報提供資料

2020.11.20

米ドル円の為替ヘッジコストは昨年末時点で年率1.9%程度でしたが、米国の相次ぐ利下げにより、5月末以降、年率0.25%程度で推移しており、2020年10月末現在、当ファンドの投資対象ファンドのポートフォリオ最終利回りは為替ヘッジ後で年率9.48%となっています。（信託報酬等費用控除前）5月と比べると債券価格の上昇により利回りは低下しましたが、世界的な低金利環境の中、引き続き魅力的な水準となっています。（グラフ2）  
2020年1月～7月のCATボンドの新規発行額は72億米ドルと前年同期の約2倍強にあたる新発債が発行されました。2019年後半以降は、2017年、2018年に発生した大災害の影響で、上乗せ金利（スプレッド）の上昇がはっきりと確認できる状況となっています。（グラフ3）

## グラフ2： 投資対象ファンドの最終利回りと為替ヘッジコストの推移

投資対象ファンド：セキュリスII ファンド-SPC セグリゲイテッド・ポートフォリオ・セブン- キャットボンド  
当ファンドは「セキュリスII ファンド-SPC セグリゲイテッド・ポートフォリオ・セブン-キャットボンド」を構成するクラスの一つである「クラスB JPY」に投資を行います。

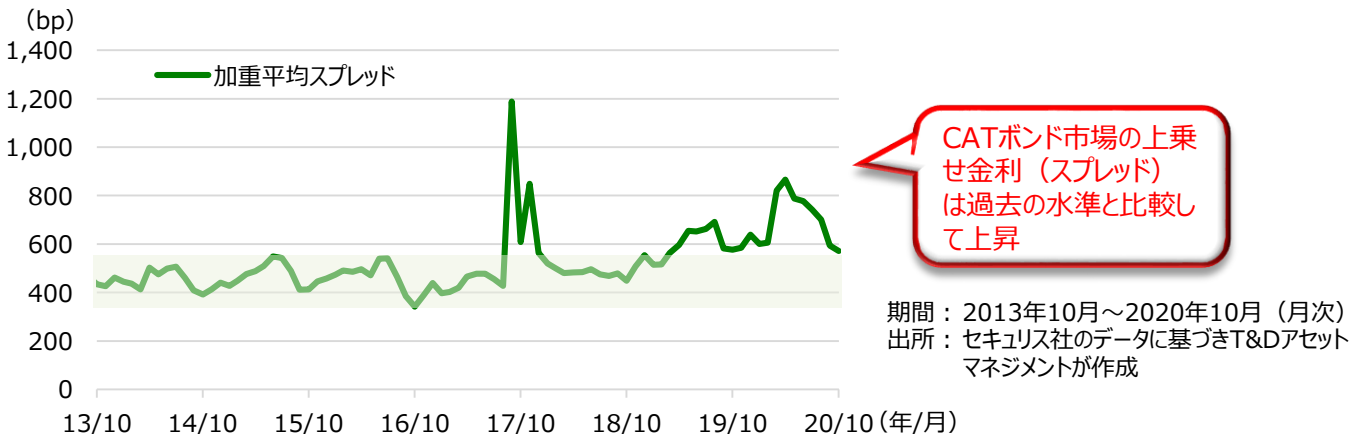


期間：2019年1月～2020年10月（月次）

為替ヘッジコストは米ドル円の1ヵ月金利差を表しています。（簡便的に計算した概算値であり、実際の値とは異なります。）

出所：ファンドの運用実績およびBloombergのデータに基づきT&Dアセットマネジメントが作成

## グラフ3：2019年後半以降は、上乗せ金利（スプレッド）が上昇



記載のデータは過去のものであり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。  
当資料をご覧いただくにあたっては、8ページに記載された内容をよくお読みください。

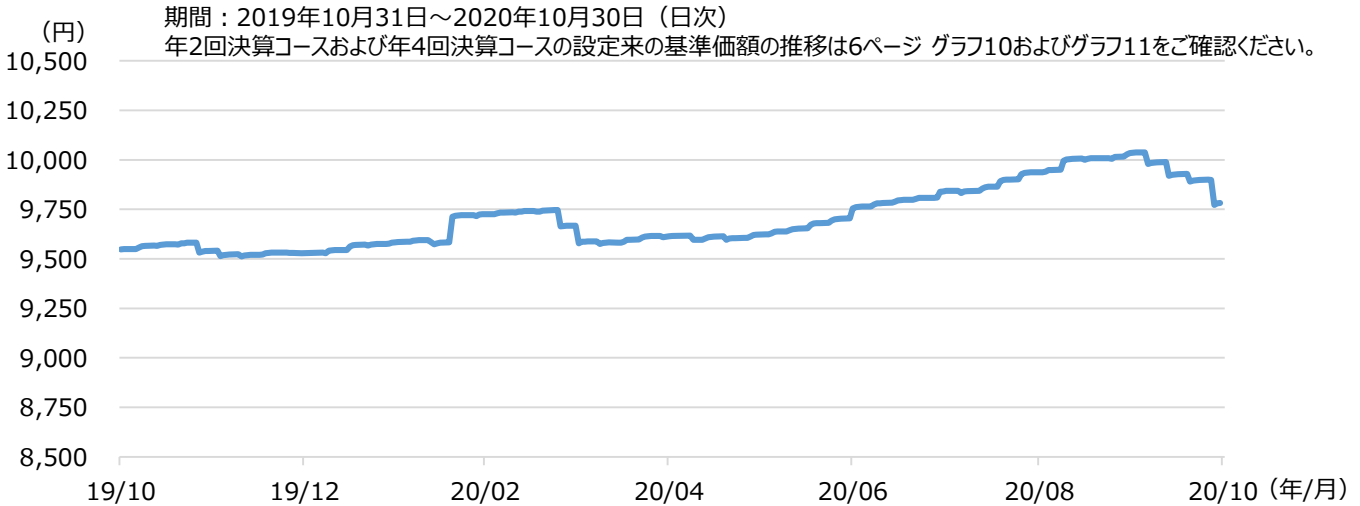


# リビング・アース戦略ファンド

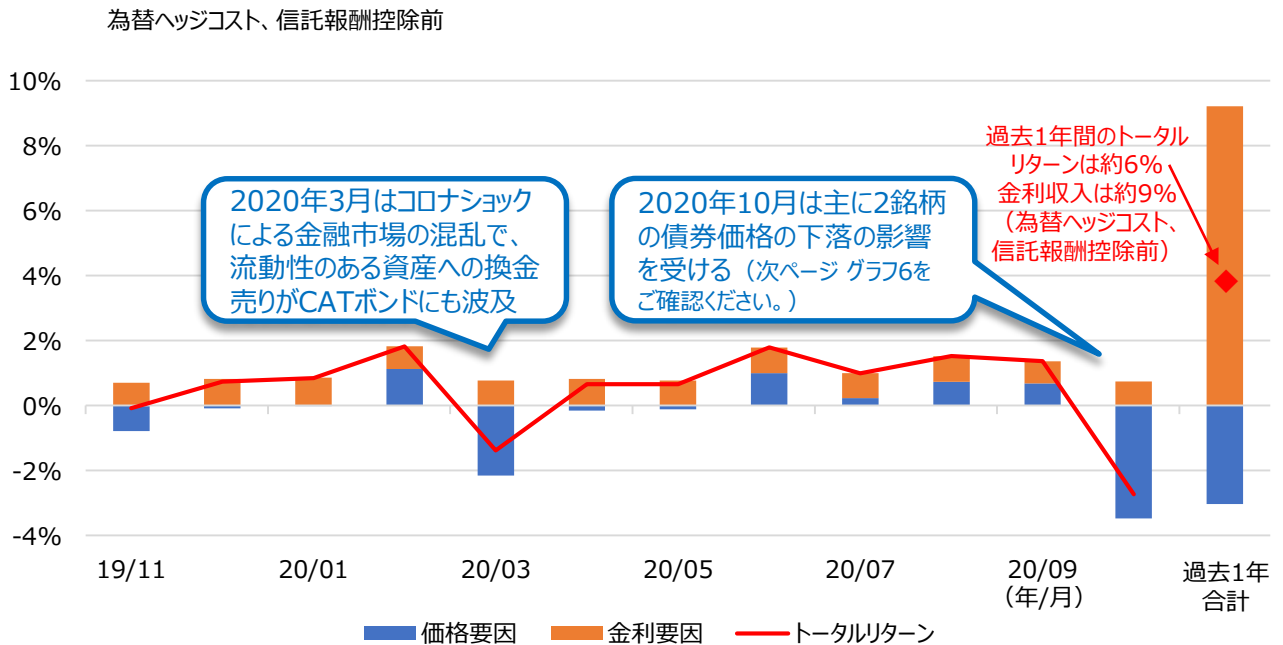
年2回決算コース/年4回決算コース  
追加型投信/海外/債券

2019年はCATボンドに大きな影響を与えるような大規模な自然災害は発生しておらず、保険損害額は2017年や2018年と比較しても少額にとどまりました。そのため基準価額は安定的に推移し、2020年9月上旬に年2回決算コースの基準価額は10,000円を回復しました。(グラフ4)  
2020年10月は主に2銘柄の債券価格の下落により、基準価額が下落しました。(グラフ5および次ページ グラフ6)

グラフ4：(年2回決算コース) 過去1年の基準価額の推移



グラフ5：投資対象ファンドの月次寄与度分析 (2019年11月～2020年10月)



出所：ファンドの運用実績およびセキュリス社のデータに基づきT&Dアセットマネジメントが作成

記載のデータは過去のものであり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。  
当資料をご覧いただくにあたっては、8ページに記載された内容をよくお読みください。



# リビング・アース戦略ファンド

年2回決算コース/年4回決算コース  
追加型投信/海外/債券

T&Dアセットマネジメント

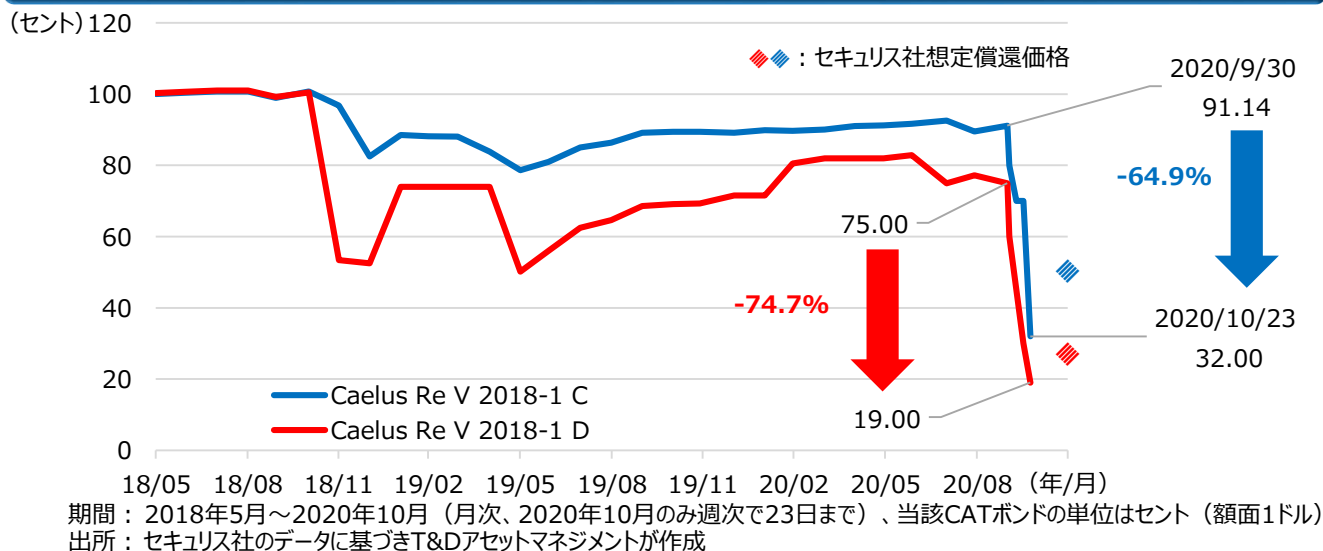
情報提供資料

2020.11.20

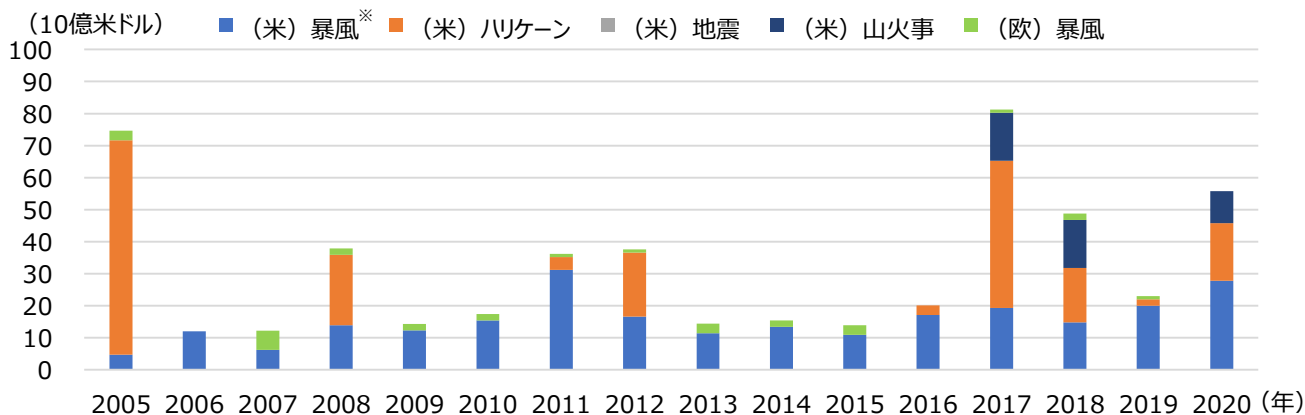
10月の基準価額の主な下落要因は、9月末時点で2.61%ずつ組み入れられていたCaelus Re (チェイラスリー) V 2018-1 CとCaelus Re V 2018-1 Dの下落によるものです。両銘柄とも全米・全自然災害を対象とした保険損害額累積型のCAT債券であり、8月に発生した大規模な嵐とカリフォルニア州の山火事、ハリケーン・ローラによる損失が確認されていること、またリスク計測期間終了の来年5月末までに追加の損失発生と元本毀損が懸念されていることから、現在価格が大幅に下落し、10月23日現在でCaelus Re V 2018-1 Cが32セント、Caelus Re V 2018-1 Dが19セントとなっています。ただしセキュリス社では、来年5月末までに予想される複数のシナリオ（例えば、例年と比べて冬の嵐や春の竜巻の被害がどの程度と想定するか）の平均値から、10月末時点でそれぞれの想定償還価格をCaelus Re V 2018-1 Cが49セント、Caelus Re V 2018-1 Dが24セントと見込んでいます。（グラフ6、上記記載の価格はすべてCAT債券の債券単価です。）

2020年は大規模な自然災害は発生していないものの、小・中規模の災害が多発しており、累積型のCAT債券にその影響が出ています。（グラフ7）

### グラフ6：10月の基準価額下落の主な要因



### グラフ7：欧米の主な自然災害による年間保険損害額の推移



記載のデータは過去のものであり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。  
当資料をご覧いただくにあたっては、8ページに記載された内容をよくお読みください。

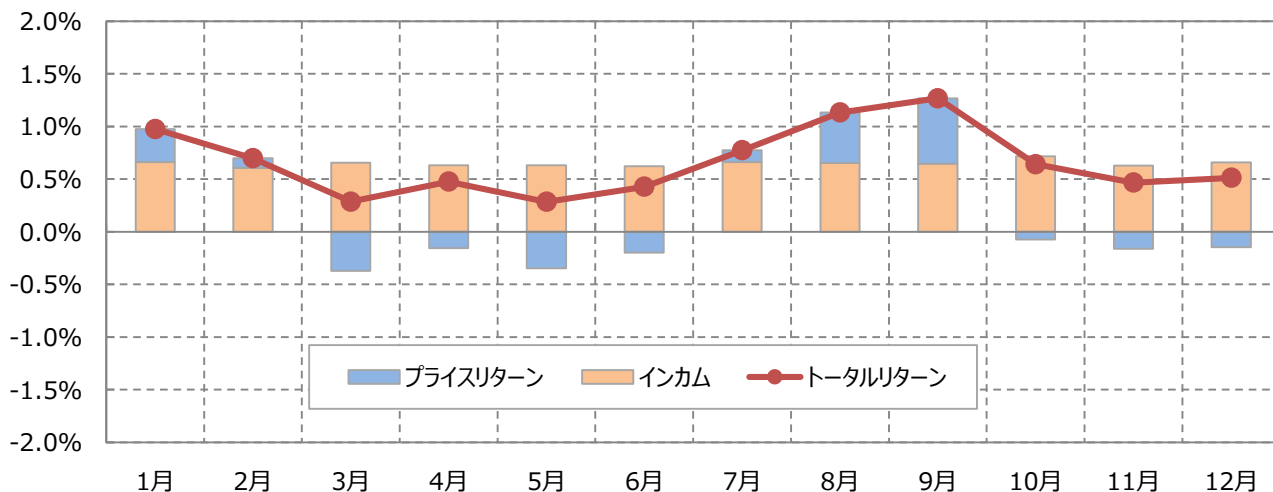


## ■今後の見通しについて

米国のハリケーンシーズンは大半が終了し、今のところ大災害は発生していません。山火事や地震等、ハリケーン以外の自然災害には引き続き注意が必要ですが、今後しばらくはグラフ8のように、インカムを中心とした値動きとなり、安定的に推移することが期待されます。(グラフ8、9)

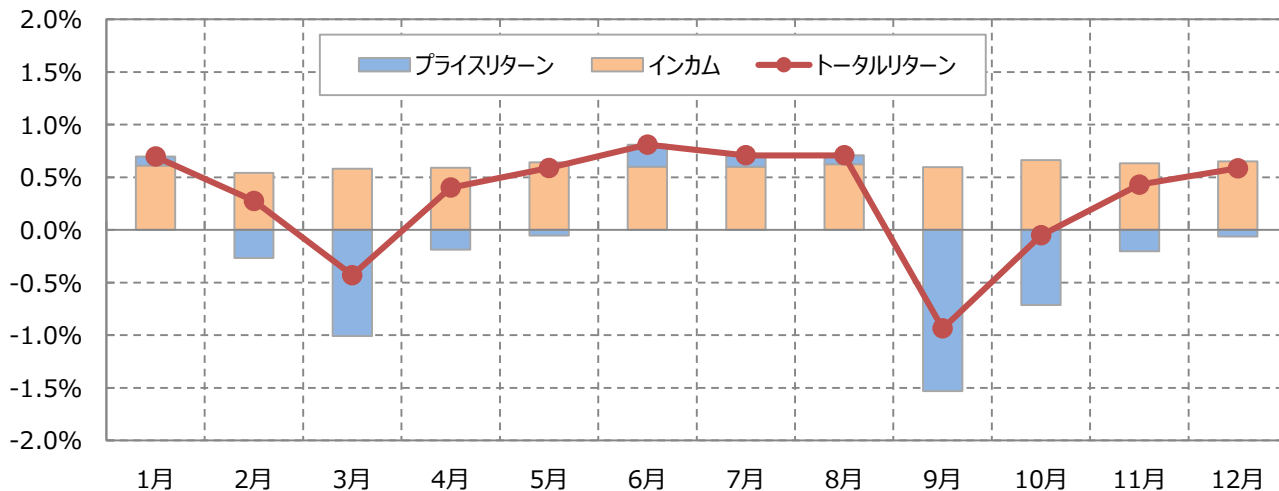
### グラフ8：CATボンド指数の月別平均リターン推移（平常の年）

平常の年とは、大規模な自然災害の発生が見られず、年間の保険損害額が相対的に小さかった年（2002年、2003年、2004年、2006年、2007年、2008年、2009年、2010年、2013年、2014年、2015年、2016年、2019年、2020年※）



### グラフ9：CATボンド指数の月別平均リターン推移（大規模な自然災害が発生した年）

大規模な自然災害の発生した年とは、大規模な自然災害の発生が見られ、年間の保険損害額が相対的に大きかった年（2005年、2011年、2012年、2017年、2018年）



CATボンド指数：スイス・リー・キャットボンド指数

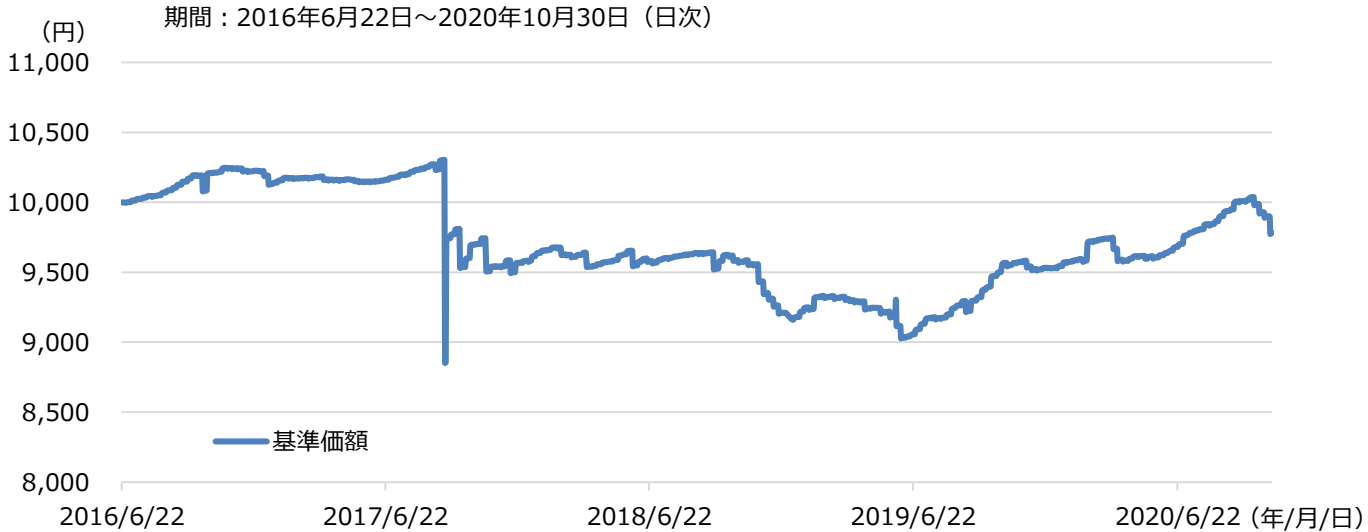
期間：2002年～2020年※（月次）※ 2020年は10月まで

出所：Bloombergのデータ等に基づきT&Dアセットマネジメントが作成

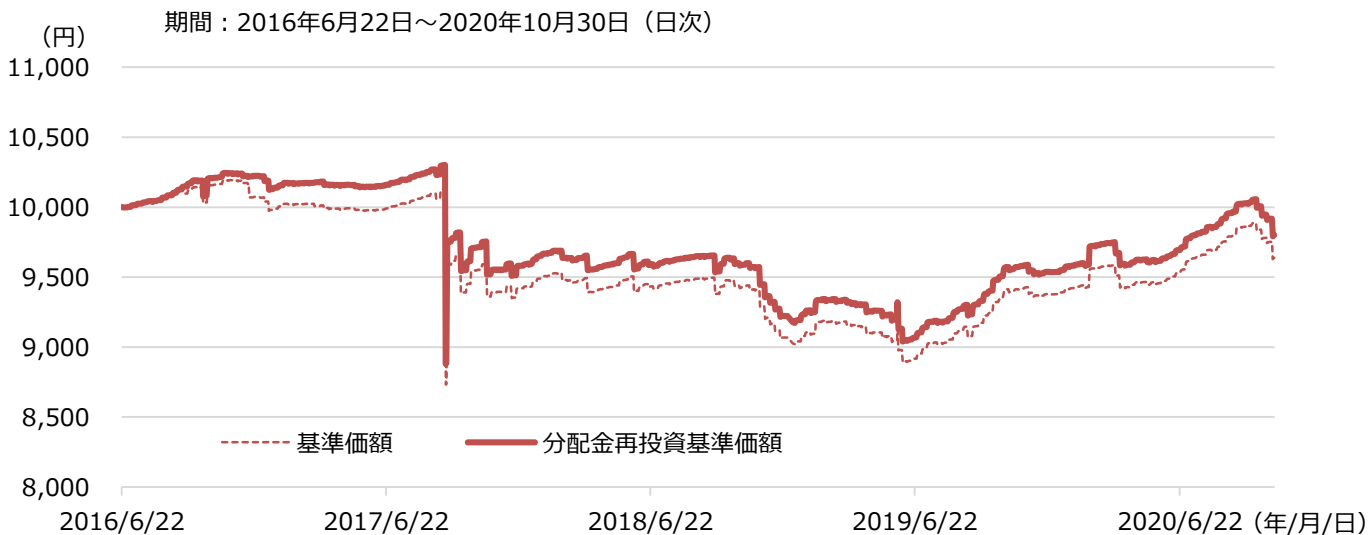
記載のデータは過去のものであり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。  
当資料をご覧いただくにあたっては、8ページに記載された内容をよくお読みください。



グラフ10：（年2回決算コース）設定来の基準価額の推移



グラフ11：（年4回決算コース）設定来の基準価額の推移



分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。  
 基準価額および分配金再投資基準価額は信託報酬控除後です。  
 出所：ファンドの運用実績に基づきT&Dアセットマネジメントが作成



# リビング・アース戦略ファンド

年2回決算コース/年4回決算コース  
追加型投信/海外/債券

T&Dアセットマネジメント

情報提供資料

2020.11.20

## ファンドの費用

### ◆投資者が直接的に負担する費用

購入手数料	購入価額に、 <b>2.2% (税抜2.0%)</b> を上限として販売会社が個別に定める率を乗じて得た額とします。
信託財産留保額	ありません。

### ◆投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	ファンド	毎日、ファンドの純資産総額に <b>年1.353% (税抜1.23%)</b> の率を乗じて得た額とします。
	投資対象とする 外国投資証券	外国投資証券の純資産総額に対し、年0.737%程度
	実質的な負担	<b>年2.09% (税抜1.967%) 程度</b> ファンドが投資対象とする外国投資証券の運用報酬等を加味して、受益者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。
その他の 費用・手数料	<ul style="list-style-type: none"> <li>信託財産にかかる監査費用および当該監査費用にかかる消費税等に相当する金額は、受益者の負担とし、信託財産中から支弁します。</li> <li>証券取引に伴う手数料、組入資産の保管に要する費用等は、信託財産中から支弁します。また、組入外国投資証券においても、証券取引・オプション取引等に伴う手数料、その他ファンドの運営に必要な各種費用等がかかります。これらの費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。</li> </ul>	

\* 上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

\* 詳細につきましては必ず「投資信託説明書 (交付目論見書)」をお読みください。

## ファンドの投資リスク

**ファンドの基準価額は、投資を行っている有価証券等の値動きによる影響を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者に帰属します。**

**したがって、ファンドは投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、ファンドは預貯金とは異なります。**

ファンドの基準価額の変動要因となる主なリスクは次の通りです。

災害発生リスク

流動性リスク

債券価格変動リスク

為替変動リスク

※基準価額の変動要因 (リスク) は、上記に限定されるものではありません。

### 【その他の留意点】

- ・ ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定 (いわゆるクーリング・オフ) の適用はありません。
- ・ 有価証券への投資や為替取引等ファンドにかかる取引にあたっては、取引の相手先の倒産等により契約が不履行になる可能性があります。
- ・ 外国投資証券を他のファンドが投資対象としている場合に、当該ファンドの購入・換金等による資金変動に伴い、外国投資証券においても売買が生じ、ファンドの基準価額に影響を及ぼすことがあります。
- ・ ファンドにおいて外国投資証券の取引を行うにあたり、外国投資証券の組入がファンドの純資産を上回る事、または大幅に下回ることがあります。
- ・ 学術的見解や累積データの解釈変更により、大規模な自然災害のリスク見積りは変更されることがあります。これらの場合には、CATボンドの価格や基準価額が変動する要因となります。

### 【分配金に関する留意点】

- ・ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- ・ 分配金は、計算期間中に発生した収益 (経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益) を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ・ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがいささか小さかった場合も同様です。



# リビング・アース戦略ファンド

年2回決算コース/年4回決算コース  
追加型投信/海外/債券

T&Dアセットマネジメント

情報提供資料

2020.11.20

## ご留意いただきたい事項

- 当資料はT&Dアセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 投資信託はリスクを含む商品であり、株式および公社債等値動きのある有価証券（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 購入のお申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断いただきますようお願い致します。投資信託説明書（交付目論見書）は販売会社にてご入手いただけます。

## 使用したデータについて

- FTSE世界国債インデックス（除く日本）  
FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。
- MSCIコクサイ・インデックス  
MSCIの各国・地域インデックスは、MSCIが開発した各国・地域の株式市場全体の動きを捉える株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIに帰属します。
- ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル・ハイイールド・インデックス  
ブルームバーグ（BLOOMBERG）は、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピー（Bloomberg Finance L.P.）の商標およびサービスマークです。バークレイズ（BARCLAYS）は、ライセンスに基づき使用されているバークレイズ・バンク・ピー・エルシー（Barclays Bank Plc）の商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します。）またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・インデックス（BLOOMBERG BARCLAYS INDICES）に対する一切の独占的権利を有しています。

## 販売会社の名称等

販売会社		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
東海東京証券株式会社	金融商品 取引業者	東海財務局長（金商）第140号	○		○	○
野村證券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長（金商）第142号	○	○	○	○

加入協会に○印を記載しています。

## ファンドの関係法人

委託会社：T&Dアセットマネジメント株式会社

信託財産の運用指図等を行います。

受託会社：三井住友信託銀行株式会社

信託財産の保管・管理業務等を行います。

## 照会先

T&Dアセットマネジメント株式会社

電話番号：03-6722-4810

（受付時間は営業日の午前9時～午後5時）

インターネットホームページ：<https://www.tdasset.co.jp/>